

# 富山県立小杉高等学校活動報告

## ◆活動取組みの紹介

私たちボランティア委員会の目標は「1人1人がみんなのために動ける小杉高校生へ」です。令和6年は、私たちの身近においても、大きな災害が発生するなど「助け合い」を必要とすることが多くありました。私たち、ボランティア委員会は、何が突如起きるか分からない社会の中で、人のために動くことができる小杉高校生を目指すことができる目標を掲げて、ボランティア活動に取り組みました。

## ●令和6年能登半島地震災害義援金に関する募金活動

日時：令和7年1月9日（木）～14日（火）

参加者数：小杉高校ボランティア委員会7名、生徒会執行部15名

今年の赤い羽根共同募金では4日間の募金活動を行いました。朝は、ボランティア委員と生徒会が生徒玄関にて募金への協力を呼びかけました。昼休みには、放送で全校生徒に対して募金の呼びかけを行いました。そして、ボランティア委員長と生徒会長で校長室と職員室をまわり、先生方にもご協力いただきました。さらに、生徒の皆さんに募金活動を行っていることを知ってもらい、気軽に参加してもらえるように食堂にも募金箱を設置しました。たくさんのご協力のおかげで10,963円の寄付を行えました。

（ボランティア委員長）



↑校長室にて寄附の呼びかけ

## ◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

私は富山マラソンのボランティア活動でたくさんのことを学ぶことができました。まず、ボランティア活動で参加者の方々とふれ合いを通してボランティア活動の良さを感じました。次に、自分自身がボランティア活動を通して、富山マラソンといったものを裏側から見ることができました。この富山県を代表するようなイベントが多くボランティアの方々の協力のもとで成されていることを実感できました。私自身も微力ではあったかもしれませんが、富山マラソンにボランティアとして関わることができたことを嬉しく思います。



↑富山マラソン2024での様子

## ◆最後にひとこと

私はこの一年、募金活動やベルマーク回収を行いました。委員の皆で協力し、クラスに呼びかけを行ったことで、たくさんのお金やベルマークが集まりました。また集まった総額や、寄付先を見て、受け取る人が幸せになれると思い、嬉しくなりました。この経験を活かし、これからも様々なボランティア活動に参加したいです。（小杉高校ボランティア副委員長）